

生駒市市民自治検討委員会設立準備会（第1回）議事要旨

日時：平成15年10月10日（金）11:00～12:00

場所：市役所401会議室

出席委員（敬称略）：相川、中川、野口、上埜、金谷

1 開会挨拶（事務局）

- ・生駒市総合計画の中で市民参加のまちづくりを重要なステップと位置づけており、市独自の市民参加のあり方を検討していきたい。まずは市民自治構想を策定し、将来的には条例ということも考えられる。市民自治基本構想を市民自らの手でつくることに意義があると考えており、その過程が重要であるとの認識の下に本準備会を設置することにした。

2 各委員の紹介（事務局から紹介の後、各委員より自己紹介）

3 案件

（1）議長選出

今回の会議で7名の委員が揃い、正式に会長、副会長を決めることになるため、出席委員による協議の結果、中川委員を本日の議長（進行役）に選出。

（2）生駒市市民自治検討委員会設立準備会設置要綱（案）について

事務局から要綱（案）について説明の後、本案を承認。今回の会議で再度説明し、「案」をとる予定。

（3）市民自治検討委員会設立準備会市民公募選出について

6名の応募者につき応募動機等を検討・評価の結果、応募動機が本会議の目的に合致する人は男女各1名、計2名であったので、くじによる抽選をすることなく、この2名を選定した。

（4）その他

今後の議論の参考として事務局から今までに検討した全体のフローに関する資料を説明し、各委員から意見を頂いた。

《主な意見等》

金谷委員：あまり結論を急ぐと方向がずれていく懸念があるので、ゆったりと進めてもらえることを希望する。

中川委員：自治基本条例に関する事例をみると、二セコ町方式（行政主導型）、多摩市方式（住民主導型）いずれも一長一短がある。生駒の場合、プロセス重視が必要と思うので、結果を急いで駄目である。

野口委員：自治基本構想をつくるプロセス自体が、構想の中核となってくると考えられる。

中川委員：策定のプロセスについては、この問題に関心をお持ちの多くの市民に参加してもらいたい。広く意見をもらいたいので、市民を巻き込むしかけが必要。市役所内部の調整はそう難しくないとと思われる。市民向けにどう売り込み、学ぶかが大事になってくる。

出席委員の日程調整の結果、次回は11月6日（木）の午前中に開催することで決定。

4 閉会